

令和5年度 3年E組 学級経営方針

担任 唐木田 充孝

1 生徒数 男子 19名 女子 13名 計 32名

2 学級目標 ひまわり ～一人一人の個性でEクラス～

担任が年度当初に「人にやさしい集団、男女仲のよい集団、居心地のよい集団を目指したい」と話したところ、それらを達成するためには、個性がいろいろあるなかでも、一つの方向を向くヒマワリがいいのではないかという意見が出て、クラスメイトが賛同したことにより、本目標を設定した。

3 生徒の様子

勉強や日常生活に苦手なことがある生徒がいる中、苦手なことを認めようとしたり、助けたりしようとする雰囲気のある集団である。一方で、人の話しているときに、隣同士で話してしまう場面も見受けられる。

また、リーダーシップをとることのできる生徒に関しては、遠慮しているものの、役割が与えられた場面や、意見を言い合う場面では活発に意見を出すことが出来ている。

4 学級経営の重点事項

- (1) 苦手なことの多い生徒も安心して過ごせる場としてのクラスを作り上げていく。
- (2) 係の仕事等を通して、集団の一員であることを自覚させる。
- (3) リーダーシップのとることのできる生徒に関しては、クラスに対して気楽に提案できる雰囲気をつくる。

5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

- (1) 勉強の苦手な生徒、人との関わりが苦手な生徒、生活に関して支援の必要な生徒がいるなかで、ひとりひとりの苦手なところを認めていきながら、助けたり助けられたりしやすい雰囲気を作っていく。具体的には、クラスの中でクラスメイトを助けている場面をほめることを継続していく。
- (2) 係の仕事がうまくいかない場面を通して、一人ひとりに集団の一員であることを自覚させ、どのように動けばよいか考えさせる。
- (3) リーダーシップのとれる生徒や、委員会に所属する生徒に対して、助言をしながら、全体の前でクラスを改善できるような提案をできる機会を増やし、自信をつけさせていく。